

通知表の見方 6 年

- ・教科ごとのねらいに基づいて、学習への取組を観点別に評価します。
- ・テストの点数だけではなく、授業への取り組み方、発言、ノート、作品、ワークシート、技能、ワークテストの結果等から総合的に評価します。
- ・「よくできる」「できる」「もうすこし」の三段階評価で、以下の三観点で評価します。
- ・「主体的に学習に取り組む態度」とは、自らの学習状況を振り返り、次の学習につなげようとしている姿のことです。

	評価の観点	「できる」
国語	知識・技能	日常生活に必要な語句の使い方や文と文の関係を理解し、学年別配当漢字を読んだり書いたりする技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めて表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	すすんで読書し、適切な言葉を使いながら積極的に人と関わったり、すすんで伝え合う力を高めたりしながら学習に取り組もうとしている。
社会	知識・技能	日本の政治と歴史及び国際理解に関することを理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめている。
	思考・判断・表現	社会的事象の特色や相互の関連や意味を多角的に考え、社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断し、社会への関わり方を判断して説明・議論している。
	主体的に学習に取り組む態度	日本の歴史や伝統、世界の国の人々と共に生きることの大切さについて、主体的に学習の問題を解決しようしたり、学習したことを社会生活に生かそうしたりしている。
算数	知識・技能	数量や図形、比例や度数分布の表し方などについて理解し、その意味や性質を考えながら計算したり作図したりする技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	数量や計算の仕方、図形の性質や計量、二つの数量の関係性を考察する力、目的に応じて収集したデータを用いて問題解決したり、問題解決の過程や結果を批判的に考察したりする力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	数量や図形の学習に粘り強く取り組み、数理的な処理や数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に生かそうとしている。
理科	知識・技能	自然の事物や現象について適切に観察し、目的に応じて器具や機器などを選択し、正しく扱いながら実験を行い、それらの過程や結果を適切に記録する技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	自然の事物や現象について、その仕組みや性質、規則性及び働きについて多面的に思考し、より妥当な考えを導き出している。
	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物や現象に進んで関わり、他者と関わりながら調べ、問題解決をしようとするとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

	評価の観点	「できる」
音楽	知識・技能	曲想と音楽の構造などとの関わりを理解し、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	音楽活動の中で、表現に対する自分の思いや意図をもったり、曲や演奏のよさを見いだしながら音楽を味わって聴いたりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	音や音楽に親しむことができるよう、他者と協働しながら音楽活動に主体的に取り組もうとしている。
図工	知識・技能	手や体全体の感覚を働かせ、材料と用具を適切に用いて、創造する技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方について考え、創造的に発想や構想したり、親しみのある作品から自分の見方や感じ方を広げたりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	つくりだす喜びを味わい、主体的に表現・鑑賞の活動に取り組もうとしている。
家庭	知識・技能	家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な知識を理解し、それらに関わる技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	家庭生活について自ら課題を設定し、様々な解決方法を考えたり実践したり、考えたことを表現したりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくするために、課題解決に向けて自分ができることを考え、実践しようとしている。
体育	知識・技能	各種運動の行い方及び心身の健康や安全についての正しい知識をもち、運動の特性に応じた基本的な動きや技能、病気の予防方法を身に付けている。
	思考・判断・表現	運動や健康について課題を見付け、その解決方法や工夫した活動を考えて、他者に伝えている。
	主体的に学習に取り組む態度	各種運動の楽しさや喜びを味わうとともに、ルールを守り、他者と協力して運動をしたり、自己の健康の保持増進についての学習に積極的に取り組んだりしようとしている。
外国語	知識・技能	・活字体の大文字、小文字を区別して正しく書いたり、簡単な語句・言葉を選んで書き写したりしている。 ・外国語の知識（音声や文字、語彙、文構造、言語の働きなど）を理解し、実際のコミュニケーションに活用できる基礎的な技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	既習語句や表現を使って話される（書かれる）内容を理解したり、自分の考えや気持ちなどを表現したりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	外国や自国に対する理解を深め、他者に配慮しながら外国語を使って主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。